

天竜林材業振興協議会

令和7年度 モニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	9	14	12	20	21	10	9
計							95

2 考察

- 報告内容から、全体的に「森林作業共通仕様書」に基づいた、適切な作業が実施されている。また一部、指摘箇所についても是正対応が図られている。また、各サイトにてFSC勉強会を実施、マニュアルに則った施業やルールの見直しが行われるなど、安全面への意識は年々高まっている。
- 本年度は、水窪サイトにて合同モニタリングを実施。普段、他サイトを見る機会が少ない森林組合にとって、施業やモニタリング方法の見直しを行う良い機会となったと思料。
参加者からは、自分のサイトと比較して、水切りが少ないように感じた。FSCルール上は問題ないと思うが近年の大雨を考慮して、数年は増やしている。といった意見が出るなど各サイトの良い取り組みを共有する機会としても非常に効果的である。
- 当地域は急峻な地形が多く、傾斜が緩やかなルートを選択するなどの安全面への配慮がみられる。重機やコンテナ苗等の積極的な活用により、作業効率を上げ、安全面と効率のバランスを鑑みながら、計画策定及び施業を実施していく必要がある。
- 食害に対する意見も多く見られており、防護柵や単木ネットの設置、定期的な見回りが実施されており、破損している場合は補修作業を行ったという報告もされている。また、シカ等による皮むき被害等も見られた劣勢木は作業前にテープを巻くなど、確実に伐倒対象とする取組みが必要。

3 備考

※ 各サイトの結果については、別紙資料1～9のとおり。

(資料1)

令和7年度 春野サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	4	2	4	5	4	1	1

2 特記事項

(1) 植林・地拵え

- ・ 獣害対策として、単木ネット、防護柵ネットが設置されており、苗木がしっかり成長していることが確認されている。
- ・ 溪流付近の場合は、水質に配慮した施業が行われている。

(2) 下刈り・つる切り・枝打ち

- ・ 植栽木も成長しており、誤伐の心配もなく、施業が行われている
- ・ 一部、広葉樹を残した施業の項目等で評価が△となっている箇所があったため、適切な施業が行われるような指導に期待する。

(3) 除間伐

- ・ つるを残した施業や急傾斜地の施業は控える、といった基本的なルールに則った施業が行われている。
- ・ ただ、一部現場において、伐倒後の集積がしっかり行われていない箇所があり、森林組合から指導、是正されたことが報告されていた。

(4) 伐採・搬出

- ・ なだらかな傾斜の場所には、路網を入れて車両系で、急傾斜地は架線系での作業を行っており、現場の状況に合わせて適切な施業が行われている。
- ・ 太い木が多い現場も見られたが、全体的に追い口、受け口がしっかり作られた、つるを残した伐倒が行われており、安全面への配慮が見られる。

(5) 林道網

- ・ 赤土で緩んでしまうところには、砂利を敷いてしっかり踏み固めるなど安全面への配慮と、必要最低限の労力で工事が行われるような路網設計がされていた。

3 考察

- 全体的に適切な施業が行われているが、モニタリング実施者から一部指摘が出ている。今年度はサイトごとにFSC勉強会も改めて行っており、よりFSCのルールやマニュアルに即した施業が行われることに期待したい。
- 適切な下刈り、間伐が行われており今後の成長が期待できる。今後もFSC担当者と現場作業員との密な情報共有を通じた、より良い森林管理の実現を進めていきたい。

4 備考

(資料2)

令和7年度 水窪サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	0	0	0	1	1	1	1

2 特記事項

- (1) 植林・地拵え
 (2) 下刈り・つる切り・枝打ち
 (3) 除間伐

※ 該当なし

- (4) 伐採・搬出 (合同モニタリングを実施)

- ・ 他サイト担当者より、作業道そばの残存木に傷があり、傷がつかないように保護するか、傷の付いた残存木は切って搬出する必要があるとの指摘があった。
- ・ 切り株にはつるが残っており、ガイドラインに沿った施業が行われている旨、報告があった。

- (5) 林道網 (合同モニタリングを実施)

- ・ 他サイト担当者より、作業道の排水処理が少ないとの指摘があった。近年異常気象により豪雨が度々あるため、排水処理は今までより多く、適切な箇所に作る必要がある。
- ・ 他サイト担当者より、間伐材の残木が作業道すぐ上の1ヶ所に固まっており残存木に負担をかけている。残木が多い場合は複数個所に散らして負担を減らす必要があるとの指摘が出ている。

3 考察

- 第一回目の合同モニタリングとして、水窪森林組合を対象に実施した。他サイトの担当者がチェックすることにより、今まで気づいていなかった指摘に繋がっていると思料。次回以降のモニタリングや施業に生かし、より良い施業を目指していただきたい。

4 備考

(資料3)

令和7年度 佐久間サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	0	0	1	1	1	1	1

2 特記事項

(1) 植林・地拵え

※ 該当なし

(2) 下刈り・つる切り・枝打ち

※ 該当なし

(3) 除間伐

- ・ 適切な伐倒木の選別、広葉樹は極力残した施業を心掛けている。
- ・ 作業に適した防護衣等の装着、救急キットの携行等、安全面への配慮が見られる。

(4) 伐採・搬出

- ・ 作業道等を車両で走行する際は、低速走行により路肩等を傷めないように注意して施業している。
- ・ 接続する市道からも近く効率の良い伐採・搬出が行われている。

(5) 林道網

- ・ 急峻な斜面に対して無理な勾配の道を設置しないなど安全面への配慮がみられる。
- ・ 効率的に伐倒・出材が可能なルートを事前調査により確認し、施業されている。

3 考察

- 事前調査による効率的な作業路の作成がされているだけでなく、安全面・効率も重視した施業が行われている。

4 備考

(資料4)

令和7年度 龍山サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	1	1	0	3	3	1	1

2 特記事項

(1) 植林・地拵え

- ・ 等高線沿いに地拵えを行うなど、マニュアルに沿った作業が行われている。獣害対策に併せて、定期的な見回りも実施されている。

(2) 下刈り・つる切り・枝打ち

- ・ 作業に合わせて防護柵の補修を行っており、今後も定期的な見回りが必要であることが報告されている。

(3) 除間伐

※ 該当なし

(4) 伐採・搬出

- ・ 現場付近に通っている水路には傷をつけないよう注意をして作業が行われている。
- ・ 利用可能な丸太は搬出、材にならないような部分は排水の横断溝等に有効的に活用されている。
- ・ 岩が多く落石の危険がある場所であり、リスクアセスメントや作業前のミーティングで安全面での対策を共有するなど、最新の注意を払って作業が行われていることが報告された。

(5) 林道網

- ・ 適切な伐開幅の作業道開設を行っており、ぬかるみやすい箇所について今後のメンテナンスが重要であることが報告されている。

3 考察

- 各項目において、安全性と効率性を高めるための工夫が見られる。勾配が急な現場も多く報告されているため、落石や排水等に注意し引き続き施業、モニタリングを行うようにしていただきたい。

4 備考

(資料5)

令和7年度 天竜サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	2	7	2	4	4	1	1

2 特記事項

(1) 植林・地拵え

- ニホンジカ等の野生動物が多く生息する地域であり、食害防止を目的としたステンレス入りネットの防護柵や単木ネット柵の設置が適切に行われている様子が報告された。
- 苗木は植栽する分だけの手配、もしくは冷暗所にて保管するなど、乾燥させないような注意が見られる。

(2) 下刈り・つる切り・枝打ち

- 競合する雑かん木の除去とつる切りを行い、苗木は順調に生育している。適切かつ丁寧な作業により、枝の少ない、スラっとした森林を形成することが出来ている。
- 全て下刈りはせず、シカ等の食物となる雑灌木は残すとといった工夫もみられる。

(3) 除間伐

- シカによる皮むき被害等が見られた劣勢木は作業前に選木、テープを巻いておき、作業者が選木された木を確実に切るようにしていた。
- 伐採木は等高線沿いにきれいに片付けることを徹底しており、土止め効果にも期待できる。

(4) 伐採・搬出

- 樹種、直材、曲がり材等のそれぞれに合った造材を行い、木材の有効活用を図っている。
- 全体的に場が悪く急斜面の現場はより安全作業に十分配慮した施業を行っている。また架線集材も適材適所で行うなど、効率よく出材作業を行っている。

(5) 林道網

- 縦断勾配を緩く、切土法面高を2m以内とすることで、法面崩壊を防止している。
- 切土法面高が2m以上になった個所は、法面の立木を多めに伐採し、風による崩壊を防いでいる。

3 考察

- 森林組合が作業する箇所に加えて、森林所有者や自伐林家が直接作業する箇所も散見される。今年度はサイトごとにFSC勉強会を改めて行っており、よりFSCのルールやマニュアルに即した施業が行われることに期待したい。

(資料6)

令和7年度 引佐サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	0	2	2	3	6	2	1

2 特記事項

(1) 植林・地拵え

※ 該当なし

(2) 下刈り・つる切り・枝打ち

- 各チェック項目に注意して作業しており、適切な感覚を開けて上下作業を避けた作業を行っているなど安全面への配慮が見られた。

(3) 除間伐

- 適切な施業により適度に日の光が入る森林となっている。下層植生の回復が今後、期待できる。
- 掛り木が発生した際は都度、熟練者に相談の上、チルホール・フェリングレバーを使用して、処理している。

(4) 伐採・搬出

- 造材機や架線集材の使用時に、作業道付近の木にカバーを設置するなど残存木に対する保護が行われている。
- 河川、溪流への伐採木の枝条、木屑の流入について改善指示を行っており、完了時には改善が確認されている。今後、改善指示が行われないう、注意深い施業を徹底されたい。

(5) 林道網

- 小面積の集合体のため、作業道の延長を抑えて潰れ地を少なくすることを意識して、計画及び事業実施を行っている旨、報告された。
- 法面付近の残存木の保護に配慮した施業を行っている。

3 考察

- 全体的に各チェック項目に則った施業が行われているが、一部、指導により改善、指摘にはならなかった項目もあった。チェック項目を改めて確認、実施の徹底を見直したい。
- 各施業における、広葉樹や残置木への損傷が起きないように対策をしながら施業が行われていることが見受けられた。

4 備考

(資料7)

令和7年度 市有林サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・地拵え	下刈り・つる切り・枝打ち	除間伐	伐採・搬出	林道網	定点観測	保護区の巡視
実施箇所数	0	0	0	1	0	1	1

2 特記事項

- (1) 植林・地拵え
- (2) 下刈り・つる切り・枝打ち
- (3) 除間伐

※ 該当なし

- (4) 伐採・搬出

- ・ 仕様書や整備計画等を遵守した施業を行っており、つるを残した適切な伐倒、下層植生を確保した施業が実施されている。

- (5) 林道網

※ 該当なし

3 考察

- 適切な方法で環境にも配慮した事業実施が伺えた。
- 重機等に救急箱を用意してあることが確認でき、安全面への配慮がされている。

4 備考

(資料8)

令和7年度 県営林サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	0	0	1	0	0	1	1

2 特記事項

(1) 植林・地拵え

※ 該当なし

(2) 下刈り・つる切り・枝打ち

※ 該当なし

(3) 除間伐

- ・ 伐倒木をナンバリングによる全数管理しており、適切な伐採方法が行われている。
- ・ 掃除伐は安全性を確保しながら下層植生を残して実施しており、周囲の環境への影響もみられていない。

(4) 伐採・搬出

※ 該当なし

(5) 林道網

※ 該当なし

3 考察

- 全体的に丁寧な施業がされているだけでなく、全幹集材やコンテナ苗の活用等、様々な方法を積極的に取り入れている。
- 安全面を確保した施業も行われており、これはサイト管理者の注意により、サイト全体で意識が共有されている成果と見受けられる。

4 備考

(資料9)

令和7年度 国有林サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	2	2	2	2	2	1	1

2 特記事項

(1) 植林・地拵え

- ・ 契約時の安全指導の徹底、契約完了時の検査や聞き取り、出来高写真等により適切な作業が実施されていることが報告されている。
- ・ コンテナ苗の活用等により、効率的な植栽を行っている。

(2) 下刈り・つる切り・枝打ち

- ・ 契約時の安全指導の徹底、契約完了時の検査や聞き取り、出来高写真等により適切な作業が実施されていることが報告されている。

(3) 除間伐

- ・ 適切な伐倒木の選別や可能な限り広葉樹は残すように努めるなど、マニュアルに沿った施業が行われている。
- ・ 契約時の安全指導の徹底、契約完了時の検査や聞き取り、出来高写真等により適切な作業が実施されていることが報告されている。

(4) 伐採・搬出

- ・ 雨天後の路肩の損傷に注意しており、また要所に鉄板等を敷くなど、搬出に伴う林道を傷めないように注意している。
- ・ 労働基準監督署と合同安全パトロールを実施、安全装備等の着用を徹底するなど、安全面への意識の高さが見られる。

(5) 林道網

- ・ 事前調査により、効率的に伐倒・出材が可能なルートを選定や無理な勾配の道を設置しないなどの配慮が見られる。

3 考察

- 契約完了時の検査や関係者への聞き取りにより、作業の適切性が確認された。
- 労働基準監督署との合同安全パトロールを行い、安全面への独自の取組みが見られる。今後、合同安全パトロールの内容の共有や他のサイトも巻き込んだ実施に期待したい。

4 備考